

D-01

AIで道路の健康寿命を予測 ～専用車両での高価な点検が不要に!～

着目した世の中の課題

道路を含む社会インフラの老朽化は加速しており、技術者・財源不足による道路運営・維持管理の最適化は自治体における喫緊の課題です。その中で、コスト効率よく道路を長く使い続けるには予防保全が重要で、その実現には劣化予測による最適な修繕タイミングの判断が必要です。

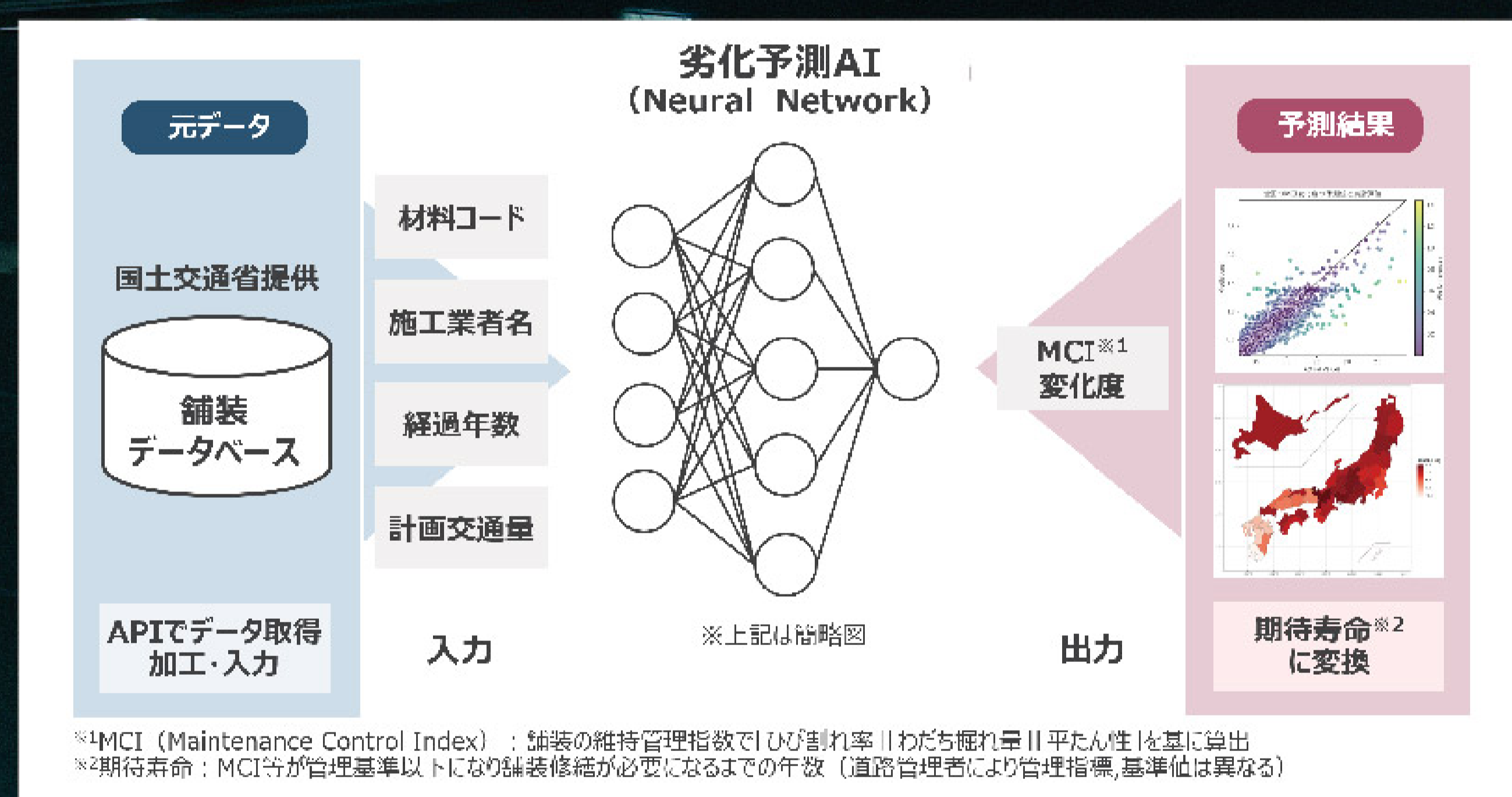
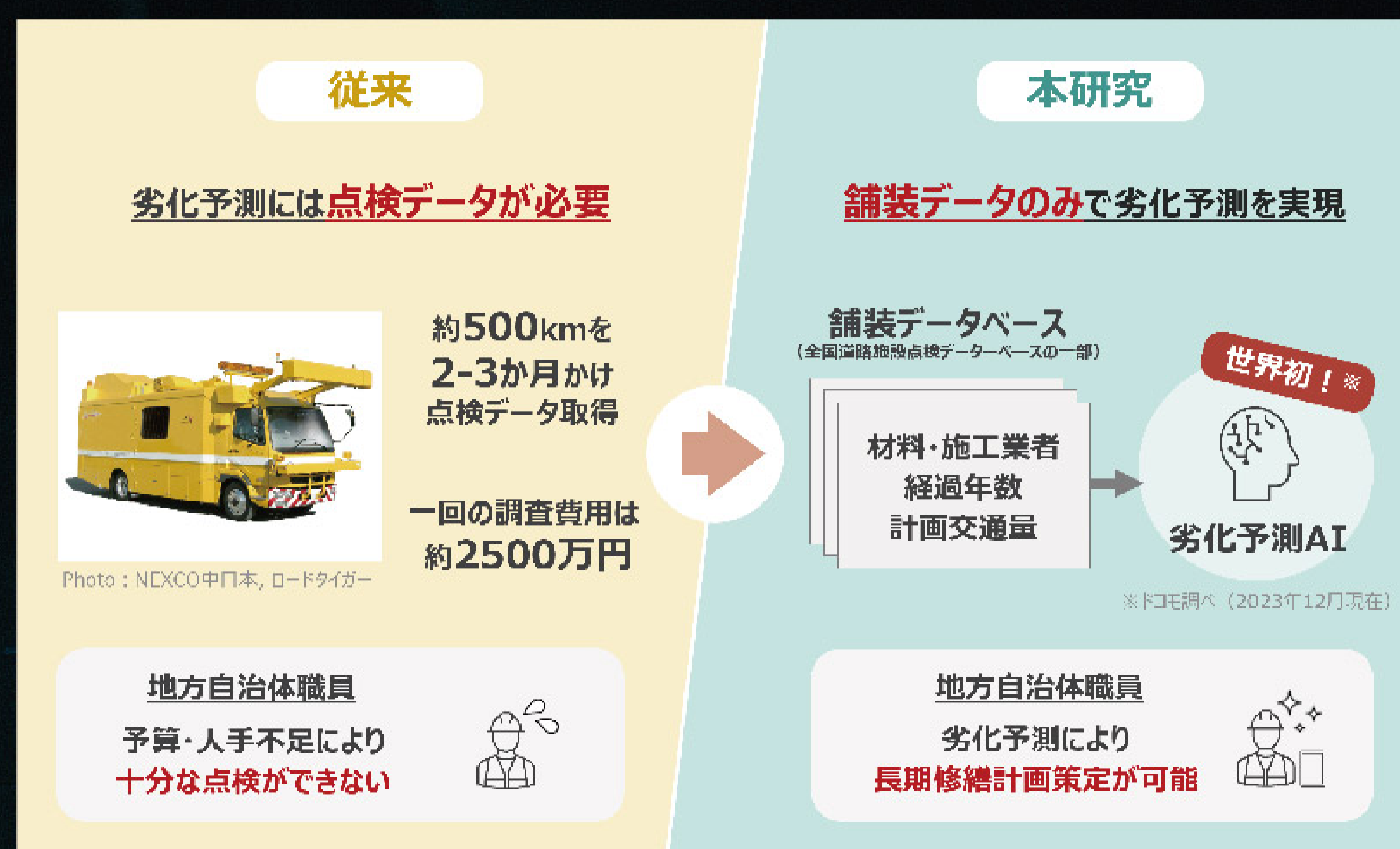
解決となる取組み

概要

従来の劣化予測には点検データが必要ですが、データの取得コストが高く、財源不足で十分にデータを保有していない自治体は利用できませんでした。そこで、点検データがなくても舗装データ(材料・施工業者など)を用いることで道路の劣化を予測するAIを開発しました(特許出願中)。これにより期待寿命の算出も可能となります。

取組みを支える技術

全国道路施設点検データベースに格納された膨大なデータを学習したAIにより、舗装データのみで道路の劣化を予測します。将来的には、ドコモデータとかけあわせることで、独自価値の創出に取組む予定です。



共創
パートナー

インフロニア・ホールディングス(株)

SDGs



劣化予測による予防保全を
幅広い地域で簡易に実現し、
限られた予算の中での
道路運営・維持管理へ貢献します。

将来にわたってあんしん・快適に生活できるまちづくりを実現します。